

平成29年度医薬品包装懇話会活動と講演テーマ要旨

☆：医薬品包装懇話会は、年間4回、8講演で開催しております。また、不定期ですが特別企画として、医薬品工場などの見学会を開催する予定であります。また、各例会終了後に、1時間程度の情報交換会を講師及び参加会員で活発な意見交換を実施しております。

☆：医薬品包装懇話会に入会した会員様には、開催日の1か月前くらいに、医薬品包装懇話会ニュースによる開催のご案内と参加申込書を郵送いたします。

☆：是非とも医薬品包装懇話会会員に入会することをお勧めします。

開催日	テーマと講演要旨
第1回幹事会 9月1日(金) Am	平成29年度医薬品包装懇話会の担当幹事、開催日程、テーマ・講師の確認および進捗状況報告 (会員登録数：134名) 出席者：大澤代表幹事、担当幹事(8名)、事務局
第142回 9月1日(金) 申込者数 148名	テーマ1：『マーケティング担当者の観点からの、製剤・包装の改善取り組み事例』 講師 ：ファイザー(株) インターショナルメディスマーケティング アソシエイトブランドマネージャー 和田 晃典 氏 医療用医薬品は、適正な情報を伝え、医療過誤を防止することが最大の付加価値の1つです。しかし、最近では、医療過誤防止以外の価値が重要視されてきています。マーケティング担当者の観点から、製剤・包装の改善ポイントを、ファイザーの後発医薬品の製剤・包装関連の事例を中心に講演いただいた。 担当幹事：ファイザー(株) 大場直美 テーマ2：『製薬市場の今後の動向』 講師 ：(株)じほう 報道局 特約記者 穴迫 励二 氏 高齢化に伴う国家財政のひっ迫を背景に、薬剤費抑制への圧力が高まっている。薬価の毎年改定や高額薬剤の使用抑制など、国が進める施策は医薬品産業を直撃し始めた。国内の医薬品市場は今どのような状況にあり、今後どう変化していくのだろうか。様々なデータから現在と将来を読み解くことについて、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)タケトモ 伊藤浩明
第141回 10月6日(金) 申込者数 112名 (講師都合にて、 6月30日より変更)	テーマ1：『バーコードの現状の問題点と今後の課題』 講師 ：カナエエンジニアリング(株) コーティング技術&バーコード検証 担当課長 北垣 雄二 氏 『バーコードの現状の問題点と今後の課題』に沿って、①バーコードの種類と医薬品用バーコードの違い、②バーコード印字の可能性、③調剤単位へのバーコード印字、④個装箱の印字、⑤元梱の印字、⑥今後の課題について、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)マイクロ・テクニカ 清水太一 テーマ2：『医療用医薬品の添付文書記載要領の改正について』 講師 ：日本製薬団体連合会 安全性委員会 安全使用対策検討部会部会長 大澤 總弘 氏 現行医療用医薬品の添付文書記載要領は、平成9年通知されていますが今般20年ぶりに改正されます。今回の改正がどのような経緯で変更となるのか、また記載内容がどのように変更となるのか、医薬品包装に関与する実務担当者として把握しておくべき内容を出来る限り平易に解説し留意点についても解説いただいた。 担当幹事：大正製薬(株) 鶴澤巨樹

<p>第143回 12月15日(金) 申込者数 132名</p>	<p>テーマ1：『医薬品流通の仕組みと流通からみた医薬品包装について』 講師：東邦ホールディングス(株) 開発本部 システム企画室長 鈴木 竜太 氏 日本の医薬品流通は海外と異なりメーカーと卸との結びつきが大変強い。卸は高度な出荷精度を維持するために80年代からバーコードの活用を進めてきた。 現在はロボット化の推進など、省人化・機械化に傾倒しているが、人間が直接製品に触れる部分もまだまだ残っている。現場に好まれる包装、作業者が不安になる包装、自動化の際の問題など、様々な観点から医薬品包装について、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)ダイト 落合誠</p> <p>テーマ2：『医薬品包装全般とCR容器について』 講師：一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長 土屋 文人 氏 医薬品の包装等における安全性（「使用の安全」）が求められるようになってから十余年が経過した。当初は当初は医療関係者の事故防止対策が中心であったが、最近では高齢者のPTP誤飲防止や小児の医薬品誤飲防止対策等、国民を対象とした安全性の確保へと移行している。 今回、医薬品包装に求められる安全性の推移と最近話題のCRに関してご講演いただいた。 担当幹事：(一社)日本血液製剤機構 滝澤良博</p>
<p>第144回 2月23日(金) 申込者数 129名</p>	<p>テーマ1：『海外視野を含めた今後のラベル動向』 講師：(株)岩田レーベル 取締役 多賀 俊雅 氏 医薬品向け粘着ラベル・ラベル貼り機に関するこれからの傾向と課題、とくに海外市場へPRを開始しているなかで直面するIoTをはじめとするキーワードに対してどのように対応していくべきか、ご講演いただいた。 担当幹事：藤森工業(株) 内田陽司郎</p> <p>テーマ2：『バーコード表示と医療現場での運用事例の紹介』 講師：埼玉医科大学病院 薬剤部 部長 岸野 亨 氏 人間は間違えるものである。しかし、間違えてはいけないのが医療。「私、失敗しないので!」「私、間違えないので!」と断言できる人は少ない。医薬品へのバーコード表示は、まさに「私、間違えないので」の第一歩となる。また、医薬品の包装に求められるものは、医薬品の安全、患者（使用者）の安全と識別性であろう。さらに、使いやすさも必要である。今回、病院薬剤師である演者から見た医薬品の包装・バーコード表示について、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)旭紙工 浦川英三</p>
<p>第2回幹事会 2月23日(金) Am</p>	<p>平成29年度活動実績報告、担当幹事の変更、平成30年度活動方針、開催日程、テーマ・講師の検討 平成30年度例会開催予定日：6/1 (金)、9/21 (金)、11/16 (金)、2/22 (金) 出席者：大澤代表幹事、新旧担当幹事（8名）、事務局</p>